



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・吾妻は災害で交通止めとなると陸の孤島になるため早く整備してほしい。(地元住民)
- ・車に頼らざるを得ない地域のため、スムーズに安全に車で移動できるようにしてほしい。(地元住民)

事業前

- ◆ 現道の国道145号は斜面崩壊の発生箇所や急傾斜地崩壊危険区域が存在し、緊急輸送道路でありながら、災害時に通行止めとなるおそれがありました。



事業前の状況 (H18.10発生の斜面崩壊)

事業後

- ◆ 現道の危険箇所を回避し、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保されました。
- ◆ 高速道路に準じた速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間が短縮されました。



事業後の状況

事業の概要

- 所在地：東吾妻町厚田～松谷
- 事業内容：バイパス整備
延長 約7,000m 道路幅 10.5m
- 事業期間：平成21年度～令和5年度



事業の進捗状況 (令和5年度完了)



今、何をしているか

令和6年3月20日に開通しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了